

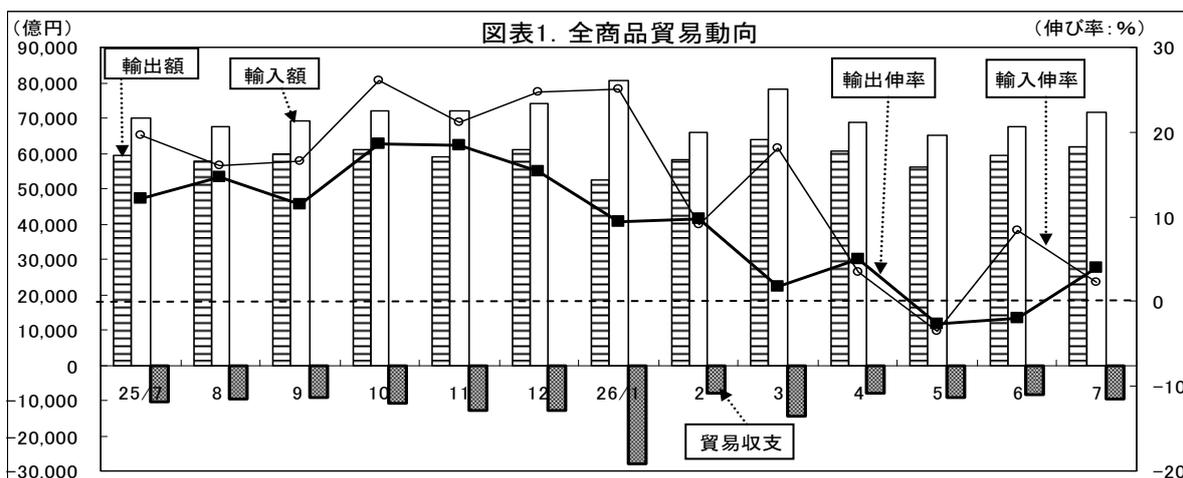
最近の機械貿易動向(7月)～機械輸出伸び率3ヶ月ぶりにプラス～

日本機械輸出組合 2014.9.18.

平成26年7月の機械輸出額は3兆9,981億円、対前年同月比4.2%増と3ヶ月ぶりにプラスとなった。これは、①為替・営業日要因が2.0%の増加要因となったこと、②6地域向け全てがプラスとなったこと、③機械輸出額の約36%を占める自動車がプラスになったことなどによる。為替・営業日要因が2.0%の増加要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.2%増と再びプラスとなった。8月も為替要因は低いまままで継続し、営業日も1日少ないことから2.4%の減少要因となる。仮に7月の機械輸出額の実質的伸び(2.2%増)が続くとすれば、前年比0.2%減と予想されたが、9月18日発表の貿易統計速報による簡易計算では8月の機械輸出は0.8%減であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は3ヶ月ぶり、輸入は2ヶ月連続プラス成長～

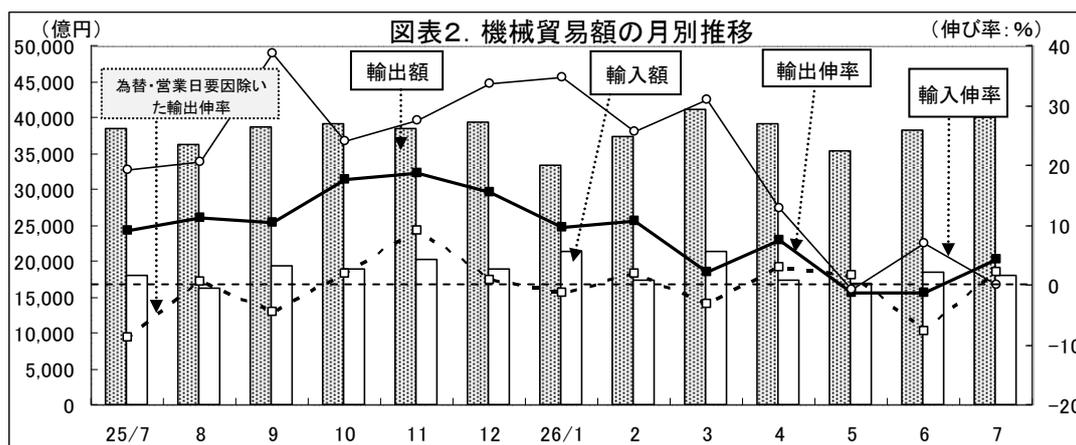
- 平成26年7月の全商品輸出額は**6兆1,920億円**、前年同月比(以下同じ)**3.9%増**と3ヶ月ぶりのプラスとなった(6月1.9%減)。これは、円安要因が縮小したものの、全輸出額の24%を占める輸送用機器(4.8%増)、17%の電気機器(3.8%増)が増加したためである。
- 輸入額は**7兆1,542億円**、**2.3%増**と2ヶ月連続のプラス成長となった(6月8.4%増)。これは、円安要因が縮小したものの、全輸入額の約33%を占める原粗油等鉱物性燃料(7.0%増)をはじめ、8%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(6.8%増)、一般機械(4.3%増)の伸び率がプラスになったことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は9,621億円の赤字となり、7月としては、1979年以來、昨年に次ぐ大きさの赤字となった(昨年7月は1兆325億円の赤字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は3ヶ月ぶりプラス、輸入は再びマイナス成長～

- 全商品輸出額の約65%を占める7月の機械輸出額は**3兆9,981億円**、**4.2%増**と3ヶ月ぶりのプラス成長となり(6月1.4%減)、輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年7月)と比べると**79.4%**となり、前月に比べて0.5ポイント後退した(6月79.9%)。
- 一方、全商品輸入額の25%を占める機械輸入額は、**1兆8,012億円**、**0.1%減**と再びマイナスとなった(6月6.8%増)。また、輸入額は、16カ月連続してリーマンショック前の水準を上回っている。

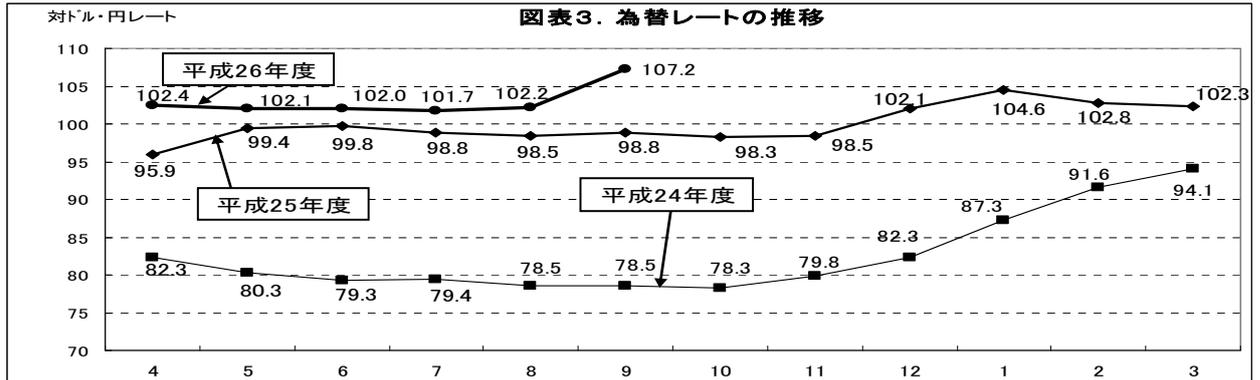


(2) 為替動向・営業日～7月は2.0%の増加要因、8月は2.4%の減少要因～

1) 7月は1ドル=101.7円と円高是正が弱まり、前年に比べ2.9%の円安となった。また、対ユーロも138.4円と前年に対して7.0%の円安となり、合わせて約2.0%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で2.0%の増加要因となった。7月の輸出額は4.2%増であったことから、実質的伸び率は2.2%増と再びプラスとなった(6月7.6%減)。

2) 8月は1ドル=102.2円と前年に比べ3.8%の円安、対ユーロでは137.1円で前年に対し5.1%の円安となり、合わせて約2.3%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日少ないため、4.6%の減少要因となり、合計で2.4%の減少要因となる。

3) 9月は、対ドルが9月17日17:00時点の107.2円とすれば、前年に比べて8.5%の円安、また、対ユーロも139.0円と5.9%の円安となり、合わせると約5.0%の為替増加要因となる。営業日は前年より1日多いため、5.3%の増加要因となり、合計で10.6%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～EU、中国を筆頭に、6地域全てでプラス成長～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、全地域向けでプラスとなり、①機械輸出額の11.4%を占めるEU向けは、全体の約35%を占める自動車(28.1%増)をはじめ、軽機械(16.1%増)、建設機械(49.4%増)等が大幅にプラスとなり、12.1%増と14ヶ月連続でプラスとなり、②21.7%を占める中国向けは、自動車(14.8%増)、光学機械(8.6%増)、重電気機械(13.5%増)等が大きく伸び、6.2%増となった。③15.0%を占めるASEAN・南アジア向けでは、タイ(14.1%減)、インド(4.4%減)がマイナスとなったものの、パキスタン(33.1%増)、ベトナム(23.0%増)、シンガポール(18.0%増)、フィリピン(13.6%増)、マレーシア(10.6%増)が二桁増となり、業種では、全体の25%を占める自動車(2.5%減)がマイナスとなったものの、重電気機械(12.6%増)、軽電気機械(11.5%増)、軽機械(9.6%増)、船舶(約2倍)等が大幅に増加して4.8%増となった。④23.8%と最大輸出先である北米向けでは、全体の約50%を占める自動車(3.3%減)がマイナスになったものの、産業機械(11.2%増)、航空機(29.6%増)、軽電気機械(7.4%増)等が大幅に増加して2.3%増と3ヶ月ぶりにプラスとなり、⑤19.3%を占めるその他地域向けでは、中南米(21.3%減)向けが大幅減となったが、中近東(26.7%増)、アフリカ(21.2%増)向けが二桁増となり、機種では全体の約61%を占める自動車(10.3%増)をはじめ、産業機械(13.6%増)、重電気機械(28.6%増)がプラスとなって1.4%増となった。⑥8.8%を占める韓国・台湾向けでは、産業機械(10.9%減)、電子デバイス(7.9%減)がマイナスとなる一方で、自動車(35.3%増)、重電気機械(16.6%増)、光学機械(13.7%増)が増加となり、0.6%増となった。

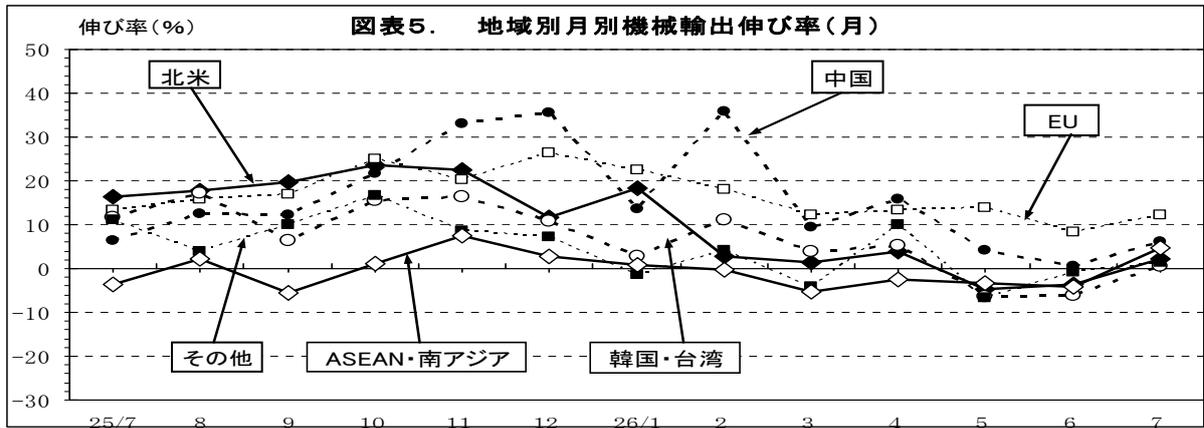
2) また、リーマンショック前の平成20年7月の地域別輸出額と比較すると、90%台のASEAN・南アジア、中国向け、80%台の北米向け、70%台の韓国・台湾向け、60%台のその他地域向け、50%台のEU向けと6地域向けすべてで水準を下回った。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2014/5			2014/6			2014/7			対08年7月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	35,373	▲ 1.3	100.0	38,244	▲ 1.4	100.0	39,981	4.2	100.0	0.79
北米	8,337	▲ 4.8	23.6	9,288	▲ 3.6	24.3	9,511	2.3	23.8	0.86
中国	7,896	4.1	22.3	8,110	0.6	21.2	8,673	6.2	21.7	0.93
ASEAN・南アジア	5,309	▲ 3.4	15.0	5,923	▲ 4.3	15.5	6,000	4.8	15.0	0.94
EU	4,163	13.9	11.8	4,274	8.3	11.2	4,567	12.1	11.4	0.59
韓国・台湾	3,339	▲ 6.4	9.4	3,463	▲ 6.2	9.1	3,503	0.6	8.8	0.77
その他	6,329	▲ 6.8	17.9	7,186	▲ 0.9	18.8	7,727	1.4	19.3	0.69

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

国名	2014/4		2014/5		2014/6		2014/7	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,819	▲ 4.0	1,726	▲ 4.0	1,712	▲ 4.9	1,679	▲ 12.6
台湾	1,817	16.5	1,613	▲ 8.8	1,752	▲ 7.5	1,823	16.9
ASEAN・南アジア								
タイ	1,607	▲ 13.2	1,516	▲ 13.0	1,610	▲ 20.7	1,627	▲ 14.1
シンガポール	878	▲ 7.0	754	▲ 6.5	977	6.5	952	18.0
インドネシア	913	▲ 0.6	719	▲ 13.0	871	▲ 8.8	818	8.8
マレーシア	730	7.8	675	7.3	737	5.2	730	10.6
フィリピン	606	13.4	514	3.0	588	13.5	600	13.6
ベトナム	436	20.5	459	14.5	447	16.2	521	23.0
インド	311	▲ 25.4	336	3.2	347	▲ 13.3	372	▲ 4.4
パキスタン	110	27.5	118	31.2	108	11.0	114	33.1
その他地域								
中南米	2,277	12.9	2,079	▲ 22.7	2,419	2.0	2,307	▲ 21.3
中近東	2,010	30.0	1,645	14.2	1,789	12.3	2,068	26.7
大洋州	1,114	▲ 6.2	912	▲ 11.3	1,081	▲ 18.6	1,257	7.3
ロシア東欧等	1,229	▲ 10.6	1,056	▲ 5.6	1,165	▲ 8.3	1,230	▲ 1.8
アフリカ	653	10.6	595	7.2	608	▲ 12.8	868	21.2

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中9業種がマイナス、産業機械、電子デバイス等が3ヶ月連続のマイナス～

- 業種別では、全21業種中9業種がマイナスとなり、前月より3業種減少した。全体の約36%を占める自動車(6.5%増)、5%の重電気機械(11.7%増)、工作機械(41.3%増)、航空機(22.8%増)がプラスとなったが、16%を占める産業機械(0.6%減)、8%の電子デバイス(0.6%減)が3ヶ月連続でマイナスとなった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機、軽機械、工作機械、光学機械、ベアリング、繊維機械の6業種で、他方、産業車両、民生用電子機械、電子計算機が40%台、通信機械が50%台の低い水準にある。

図表7 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

機種名	2014/5			機種名	2014/6			機種名	2014/7			対08/6比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	11,445	▲ 5.5	32.4	自動車	13,365	▲ 0.8	34.9	自動車	14,477	6.5	36.2	0.82
産業機械	6,351	▲ 0.2	18.0	産業機械	6,341	▲ 3.0	16.6	産業機械	6,462	▲ 0.6	16.2	0.80
電子デバイス	2,829	▲ 5.2	8.0	電子デバイス	2,872	▲ 8.7	7.5	電子デバイス	3,119	▲ 0.6	7.8	0.70
重電気機械	1,913	2.4	5.4	軽電気機械	1,935	▲ 2.2	5.1	重電気機械	2,072	11.7	5.2	0.88
軽電気機械	1,884	3.9	5.3	重電気機械	1,885	▲ 2.7	4.9	軽電気機械	2,056	3.9	5.1	0.80
軽機械	1,452	5.6	4.0	軽機械	1,502	▲ 0.3	3.9	軽機械	1,586	▲ 0.3	4.0	1.15
民生用電子機械	1,418	▲ 6.0	3.9	民生用電子機械	1,415	▲ 13.0	3.7	光学機械	1,480	▲ 11.9	3.7	1.09
光学機械	1,371	2.1	4.1	光学機械	1,399	3.8	3.7	民生用電子機械	1,460	▲ 6.3	3.7	0.46
船舶	1,132	▲ 31.6	3.2	船舶	1,390	▲ 10.8	3.6	船舶	1,350	▲ 19.9	3.4	0.76
建設機械	875	▲ 0.0	2.5	建設機械	1,020	▲ 3.9	2.7	工作機械	993	▲ 41.3	2.5	1.09
工作機械	841	33.7	2.4	工作機械	994	44.8	2.6	建設機械	980	▲ 3.0	2.5	0.62
航空機	660	23.6	1.9	航空機	704	18.1	1.8	航空機	690	22.8	1.7	1.84
通信機械	512	25.4	1.4	通信機械	488	5.0	1.3	通信機械	459	14.6	1.1	0.54
電子計算機	404	8.8	1.1	電子計算機	460	▲ 5.9	1.2	ベアリング	417	6.3	1.0	1.07
ベアリング	382	6.4	1.1	医療機械	409	5.3	1.1	電子計算機	408	▲ 11.4	1.0	0.42
医療機械	379	21.7	1.1	ベアリング	399	0.6	1.0	医療機械	405	23.0	1.0	0.97
陸用内燃機関	341	5.3	1.0	陸用内燃機関	358	3.2	0.9	陸用内燃機関	367	11.3	0.9	0.85
繊維機械	218	9.5	0.6	繊維機械	209	▲ 1.2	0.5	農業機械	191	23.9	0.5	0.93
農業機械	181	40.9	0.5	農業機械	208	22.2	0.5	繊維機械	179	▲ 20.9	0.4	1.001
産業車両	125	13.2	0.4	産業車両	134	3.1	0.4	産業車両	129	0.9	0.3	0.49
鉄道車両	47	▲ 3.0	0.1	鉄道車両	40	▲ 50.9	0.1	鉄道車両	56	45.9	0.1	0.70
21業種合計	34,761		98.3	21業種合計	37,528		98.1	21業種合計	39,337		98.4	0.79

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

(5)機種別動向～鉄道車輛、工作機械等大幅増、半導体製造装置、デジカメ・ビデオ等大幅減～

1)10%以上の伸び率を示した機種は、①中国、北米向け**鉄道車輛**(45.9%増)、②中国、北米、ASEAN・南アジア向け**工作機械**(41.3%増)、③中国向け**通信機械部分品**(38.6%増)、④中国、北米向け**産業用ロボット**(31.1%増)、⑤EU、中国、北米向け**理化学用機器**(29.5%増)、⑥その他地域、中国、北米向け**受信変換その他送受信**(26.6%増)、⑦北米、EU 向け**農業機械**(23.9%増)、⑧中国、ASEAN・南アジア向け**その他の重電機機器・部分品**(23.1%増)、⑨北米、EU 向け**医療機械**(23.0%増)、⑩北米向け**航空機**(22.8%増)であった。

2)一方、最も落込み幅が大きいのが、半導体製造装置(26.7%減)、デジカメ・ビデオ(24.7%減)、繊維機械(20.9%減)、船舶(19.9%減)等であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円)

2014/5			2014/6			2014/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
通信機械部分品	216	50.1	工作機械	994	44.8	鉄道車輛	56	45.9
農業機械	181	40.9	TV	113	33.0	工作機械	993	41.3
工作機械	841	33.7	通信機械部分品	179	28.4	通信機械部分品	174	38.6
発電機	107	30.2	農業機械	208	22.2	産業用ロボット	131	31.1
航空機	660	23.6	原動力機械	438	18.6	理化学用機器	404	29.5
医療機械	379	21.7	航空機	704	18.1	受信変換・その他送受信	137	26.6
理化学用機器	381	18.9	受信変換・その他送受信	150	13.0	農業機械	191	23.9
原動力機械	429	17.6	理化学用機器	412	12.9	その他の重電機機器・部分品	566	23.1
産業車両	125	15.2	電池	231	11.2	医療機械	405	23.0
電動機	136	11.7	機種合計	3,429	* 9.0%	航空機	690	22.8
機種合計	3,455	* 9.8%				機種合計	3,747	* 9.4%

は、2ヶ月連続で上位機種

* 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等
理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター

図表9. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円)

2014/5			2014/6			2014/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	1,132	▲ 31.6	鉄道車輛	40	▲ 50.9	半導体製造装置	892	▲ 26.7
写真機の部分・附属品	145	▲ 17.5	デジカメ・ビデオ	361	▲ 29.4	デジカメ・ビデオ	364	▲ 24.7
デジカメ・ビデオ	389	▲ 15.2	半導体製造装置	991	▲ 13.9	繊維機械	179	▲ 20.9
機種合計	1,666	* 4.7%	電気・電子計測器	415	▲ 12.8	船舶	1,350	▲ 19.9
			写真機の部分・附属品	143	▲ 12.7	印刷・製本機械	819	▲ 12.1
			金属加工機械	286	▲ 11.2	電子計算機	408	▲ 11.4
			船舶	1,390	▲ 10.8	機種合計	4,012	* 10.5%
			機種合計	3,626	* 9.5%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～再びマイナス成長。電子デバイス、電子計算機、乗用車、携帯電話が大幅減～

1)7月の機械輸入伸び率は0.1%減と再びマイナスとなった。これは、円安要因が大幅に縮小したことに加え、主要機械輸入機種である電子デバイス(1.1%減)や電子計算機(7.5%減)、乗用車(21.5%減)、携帯電話(44.7%減)が減少したことによる。

2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、航空機、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換・その他送受信、携帯電話、時計、TV、通信機械部分品となっている。

3)地域別機械輸入額は、全体の39%を占める中国(2.5%減)、ASEAN・南アジア(6.7%増)、EU(0.8%増)、北米(3.6%増)、韓国・台湾(0.3%増)、その他地域(14.2%減)の順であった。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2014/5				2014/6				2014/7			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,168	7.8	12.8	電子デバイス	2,300	5.0	12.5	電子デバイス	2,184	▲ 1.1	12.1
電子計算機	1,828	4.9	10.8	電子計算機	1,874	4.5	10.2	電子計算機	1,833	▲ 7.5	10.2
自動車部品	991	10.3	5.8	携帯電話	1,027	▲ 18.6	5.6	自動車部品	1,061	10.4	5.9
白物家電	838	▲ 4.5	4.9	自動車部品	1,022	31.7	5.6	航空機	949	▲ 0.1	5.3
航空機	738	▲ 17.9	4.4	白物家電	906	4.5	4.9	乗用車	836	▲ 21.5	4.6
乗用車	699	▲ 9.7	4.1	航空機	884	▲ 23.7	4.8	白物家電	821	▲ 5.1	4.6
携帯電話	555	▲ 59.1	3.3	乗用車	699	▲ 12.0	3.8	医療機械	595	2.5	3.3
医療機械	497	▲ 0.2	2.9	医療機械	577	6.5	3.1	配電機器	519	▲ 2.0	2.9
配電機器	478	0.8	2.8	受信変換・その他送受信	531	29.4	2.9	受信変換その他送受信	498	▲ 3.1	2.8
受信変換・その他送受信	456	▲ 7.1	2.7	配電機器	528	14.4	2.9	コンデンサー等部分品	373	▲ 0.7	2.1
その他の配電制御装置	343	14.8	2.0	コンデンサー等部分品	381	21.3	2.1	携帯電話	357	▲ 44.7	2.0
コンデンサー等部分品	339	▲ 1.4	2.0	半導体製造装置	357	219.9	1.9	その他の配電制御装置	342	3.2	1.9
12機種合計	9,930		58.6	12機種合計	11,086		60.3	12機種合計	10,368		57.6

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械